

編集後記

村江さんから編集長を引き継ぎました。第一代の編集幹事をやっていましたが、それから7年振りに遊星人にもどってきました。

仕事の内容を忘れてしまっていたり、ネットワークの進化などで仕事のやりかたが多少変わったりで、戸惑いがある一方、多少仕事の内容を憶えているということで、勝手に話を進めてしまったりで、編集委員の方々（特に幹事の倉本さん）には迷惑のかけばなしです。そのうち慣れると思いますので、読者の皆さん、編集委員の皆さん暖かく見守ってください。

本号は、そんな編集長になりかわり、編集委員の一人である並木則行さんが、ゲストエディターとして、「アポロ30周年」の特集をまとめてくれました。並木さんの尽力で、アメリカ在住の中村先生や非常に忙しい水谷先生に記事を書いていただいたりして、素晴らしい特集になったと思います。並木さんは今回限りで編集委員を降り、新しく宮城教育大の高田淑子さんが編集委員会に入られます。並木さんには他方面での活躍を期待します。

高田さんには新鮮な企画の提案などを期待しています。

先号での山本新会長の挨拶、倉本新編集幹事の編集後記で日本惑星科学会のマンネリ化が懸念されていました。これは当然、遊星人のマンネリ化への懸念にもつながります。山本会長が春まで在籍し、倉本編集幹事が現在在籍している、北大理学部主催の「惑星科学春の学校」に、先日、講師として参加させてもらいました。

北大の若い学生のやる気、興味をひしひしと感じ、北大のスタッフの人達がそういったやる気を引き出す努力をしていることが強く伝わりました。遊星人も若い学生を惹きつける紙面作りに努力していきたいと思います。

井田 茂

編集委員

井田 茂 [編集長] 倉本 圭 [幹事] 並木 則行 [ゲストエディター]
荒川 政彦 飯島 祐一 海老原 充 加藤 工 木村 眞 小林 憲正 小林 直樹 佐々木 晶
高木 靖彦 高田 淑子 田近 英一 中村 良介 平田 岳史 松島 弘一 村江 達工 渡部 潤一

1999年6月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第8巻 第2号

定 価 一部 1,750円 (送料含む)

編集人 井田 茂 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院理工学研究科

地球惑星科学専攻

印刷所 〒135-0011 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21

日本学会事務センター内 日本惑星科学会

TEL 03-5814-5801 FAX 03-5814-5820

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写権等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: kammori@msh.biglobe.ne.jp

学会誌原稿作成の手引

日本惑星科学会編集専門委員会

1. 原稿の様式

はじめに委員長宛に投稿するときはプリントアウトした原稿2部，最終稿では原稿2部（1部に字体，図表の位置指定）とテキストファイルを提出すること。原稿は，原則として，ワープロにより作成されたものとする。また，テキストファイルはフロッピーまたは電子メールで送付のこと。テキストファイル以外の場合は事前に編集幹事に相談のこと。

2. タイトル

記事のタイトルは15字以内。また，タイトル，筆者名及び所属を和文・英文両者で付す。

3. セクション

セクションは1., 2., ..., サブセクションは1.1, 1.2, ..., 細区分は(1), (2), ..., の記号を頭にして，左寄せ，行末改行とする。また文中での区分けは(a), (b), (c)を用いる。これら記号はすべて半角文字を用いる。セクションタイトルは12文字以内で簡潔に，また，セクションタイトルとして“はじめに”，“おわりに”，“まとめ”は避ける。

4. 述語

専門用語はなるべく避けるか，十分な説明をつける。特に，対応する日本語がある場合，英語・英略語は使わない。

5. 字体

数字，英字は半角とする。また(,), [,], :, ;など区切り記号も半角を用いる。本文は立体(ローマン)，数式はイタリックで組む。本文中のイタリックは下線，数式中の立体(ローマン)は2重下線，ゴチック(ボールド)は鼓下線で朱記指定する。

6. 単位

使用単位については特に統一しない。ただし， gcm^3 ， cms^{-1} などとはせず， g/cm^3 ， cm/s とする。

7. 句読点

句読点は全角の“，”，“。”を用いる。

8. 図，表

文中での図表の引用は“図1”，“表2”の形をとる。最終稿送付に際して，図表，写真の刷り上がりの時の大きさ，位置を朱記指定のこと。他の文献から図表を転載する場合は，予め編集委員会に照会のこと。

9. 脚注

脚注は“1”などの記号をつける。

10. 文献の引用

引用文献は重要なものに限る。目安として10項目以内にする。本文中での引用は[1]，[2]の形で通し番号をつけ，論文の末尾に一括してリストを載せる。使用言語は原論文に従い。論文名は省略する。3人以上の著者はet al.または他と表記する。形式は以下に従う。

参考文献

- [1] Wakusei, T. and Kinsei, S., 1989: *Astrophys.* **220**, 293-330.
 [2] Wakusei, T. et al., 1999: *J. Geophys. Res.* **123**, 4567-4572.
 [3] 惑星太郎, 1992: *天文月報* **85**, 186-190.

11. 原稿の送付先 投稿時の原稿送付先は

152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1
 東京工業大学大学院理工学研究科
 地球惑星科学専攻 井田 茂
 FAX: 03-5734-3538

E-mail: ida@geo.titech.ac.jp

最終稿の送付先は

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
 北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻
 倉本 圭

FAX: 011-746-2715

E-mail: keikei@neko.lowtem.hokudai.ac.jp